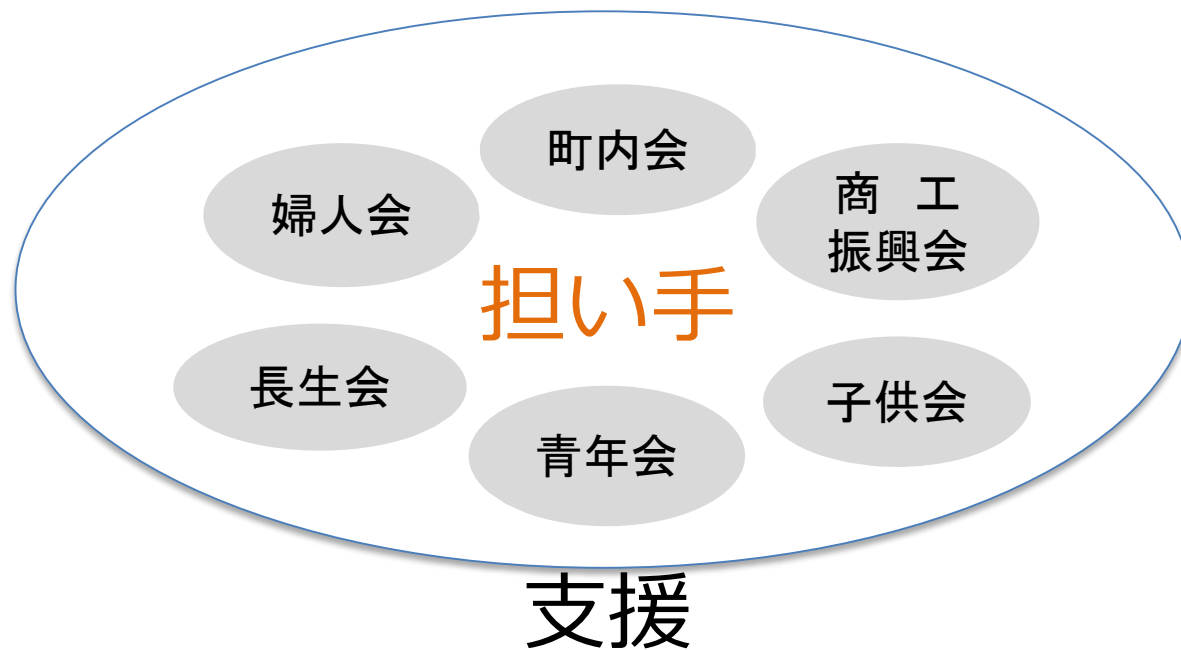


# まちなみと蔵庭を活かした 「駅～まちなか」をつなぐプロジェクト



まちなみ・蔵庭プロモーション協議会

平成28年2月22日

# 1. 事業実施地域の課題

国の登録有形文化財である甲斐本家は  
日本を代表する蔵座敷！  
にもかかわらず

原発事故風評被害で閉鎖、三セクで再開するが賃借のため制限多く思うようなサービスができない。

→ 観光客の減少、空き店舗増加、停滞

一方、ラーメンのお客様は増えているが滞在時間がわずか。→ 以前のように蔵のまちなみ散策で滞在時間を伸ばしたい。

駅～上町の回遊性が高まれば  
まちなか全体のにぎわいづくりに  
大きく寄与進展する！！

それには

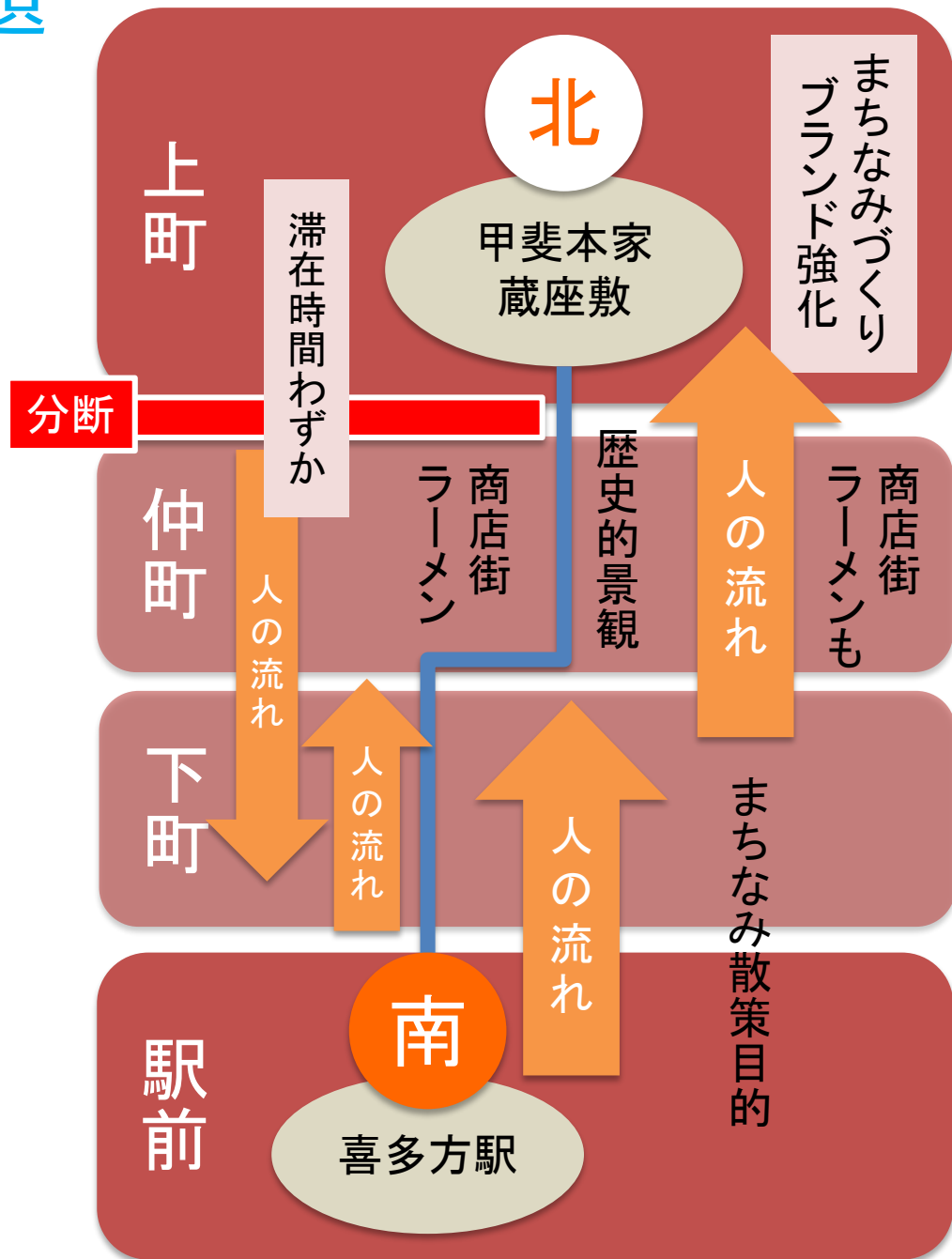
上町を目的にお出でいただき

上町までのまちなみを景観整備

街路整備完了 → 駅前、下町、仲町

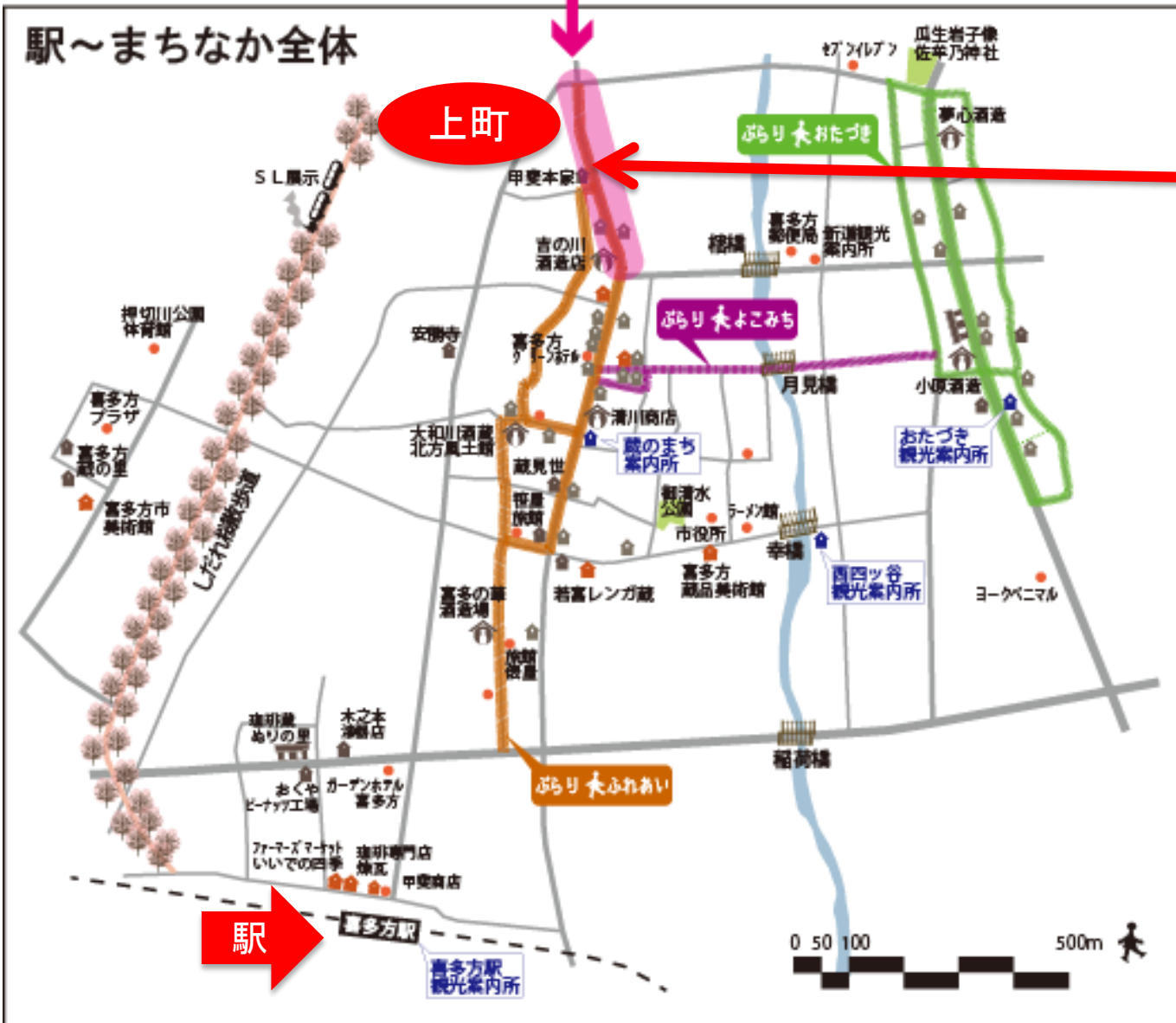
街路整備未完 → 上町

まちなみ・蔵庭プロモーション協議会 発足



# 1. 事業実施地域の課題

本事業の主な対象地区



登録有形文化財 甲斐本家



周辺に小中高が立地する地区  
しかし、空き店舗が目立つ



「ふれあい通りからみた上町」  
こちらの通りへ誘う魅力に乏しい

# 2. 事業概要

## (1) 事業実施体制

構成主体	役割(中間支援の内容)
かね喜 (ベロタクシー会津喜多方)	事業全体の企画、指導、起業家支援、支援活動メニューづくり支援
喜多方市	事業事務補助、ワークショップ運営、景観整備支援等の助成、情報発信
会津商工信用組合	起業家支援、専門家派遣、経営支援、創業補助金、ものづくり補助金、資金融資
喜多方蔵の会	甲斐本家利活用検討、建築物の活用提供、事業メニュー指導・支援

担い手	これまでの活動内容	本事業で新たに取り組む内容
上町まちづくり協議会 (町内会、商工振興会、婦人会、青年会、子供会、長生会)	沿道花壇整備、街路灯運営、祭礼出店、敬老会、	景観協定・改修プラン、空き店舗活用サイン・プロダクト商品開発等
地元 NPO・まちづくり団体 不動産オーナー	甲斐本家の利活用提案 販売委託など	まちづくり団体意見交換、空き店舗の活用・起業受入マッチング

# 2. 事業概要

## (2) 事業のスキーム

### プロジェクト①

甲斐本家の活用と景観づくり

#### 協議会

かね喜

行政

#### まちなみづくり支援

- ・まちなみづくり会議の開催
- ・まちのサイン、メニューづくり
- ・ブックレットの制作



- ・専門家の紹介
- ・サイン、メニュー、PR誌構想支援

上町まちづくり協議会(担い手)

- ・上町サインの考案、展開
- ・PRブックレットの制作

### プロジェクト②

仮想商店街プロジェクトの実施

#### 協議会

かね喜

行政

蔵の会

#### ワークショップ開催支援

#### 空き店舗活用イベント実施支援

- ・学生交えたワークショップ開催
- ・「仮想商店街プロジェクト」実施



- ・空家手配・改修支援、専門家紹介
- ・プロダクトグッズ販売支援
- ・通行量等調査アドバイス

上町まちづくり協議会(担い手)

- ・空店舗改修「上町我家」OPEN
- ・空店舗活用イベント開催

### プロジェクト③

空家・空き店舗の活用

#### 協議会

会津商工  
信用組合

かね喜

行政

#### プロダクトグッズの開発支援 改修プラン作成支援

- ・デザイン支援、専門家紹介
- ・販売PR手法支援
- ・継続的な事業推進の支援等



- ・創造事業等資金調達方法、  
投資シミュレーション指導(信組)
- ・景観協定に向けた調整(行政)

上町まちづくり協議会(担い手)

- ・オリジナルグッズ制作
- ・まちなみ改修プランの検討



# 3. 各取組の概要

## ①プロジェクト1：甲斐本家の活用と景観づくり

・「上町のまちなみづくり・まちづくりに向けて」の勉強会実施

### 専門家による講義

まちづくり・みちづくり議論のポイント

- だれのためのまち？  
生活者、観光者？高齢者、子育て世代、若者？
- うつくしく、すみやすく、もうかるためには？
- みち（商店街）はどうあるべき？  
どんなみち？まちなみ？どう使う？
- そのためにだれが（いつまでに）何をすべきか

県景観アドバイザーの北山利彦氏、市内景観協定地域の担い手の皆さんにもおいでいただき、まちづくり会議を実施。

徐々に担い手の意識が醸成され、担い手のまちづくり任意団体の必要性を理解していった。

### 計3回の まちなみづくり会議の実施



### ◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
かね喜	関係団体調整、まちなみづくり会議運営支援、事例収集支援
喜多方市	専門家紹介、まちなみづくり会議運営支援、PR活用支援

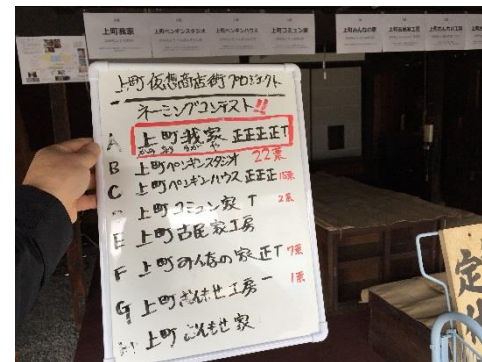
# 3. 各取組の概要

## ①プロジェクト1：甲斐本家の活用と景観づくり

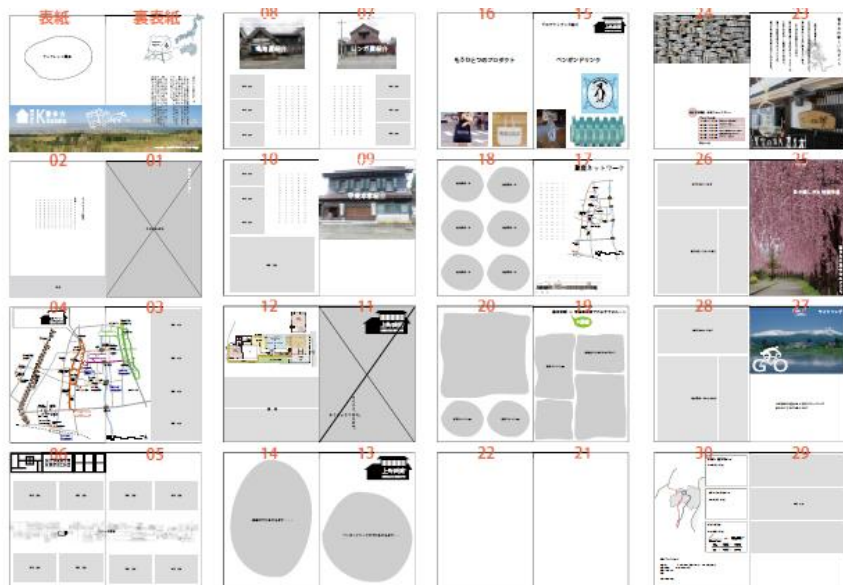
- ・景観まちづくりと絡めながら、上町をPRするサインづくり
- ・ブックレットの制作



空家活用  
ネーミング  
の投票等



まちなか全体との連携を考慮した  
上町ブックレットの制作



空家活用  
サインの検討





# 3. 各取組の概要

## ①プロジェクト1：甲斐本家の活用と景観づくり

### (成果と課題)

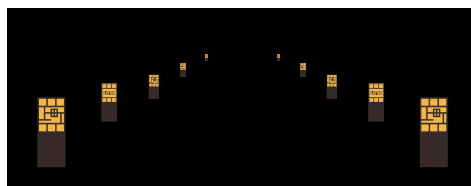
・「上町まちづくり協議会」の設立

・ネーミング、ブランディングの強化

「上町サイン」 空家活用ネーミング「上町我家」、ロゴマーク決定  
行灯活用計画等



上町サイン



上町町内会・上町商工振興会  
・婦人会・東子供会・青年会・長生会

・甲斐本家や、各種その他団体の取り組みと連携したブックレットメニュー

### ◎各取組の成果・課題

「まちがこんな風になっていければな」という思いはあるものの、

「事業そのものを推進する力がまだまだ弱い」という担い手に対して

目に見える形で一体感の創出と志気の高揚を図った。

今後これらの成果を活用しながら活動展開。(景観まちづくり・「上町我家」の運営管理等)



成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
甲斐本家の入場者	年間8,022人	年間10,000人	8ヶ月間 8,472人

※通年開館の予定だったが、新年度改修の準備等の関係で12～3月が閉館となり、結果未達となった。しかし、通年開館となれば、原発事故後の年間最低入館者数でも649人/月であることから、12～3月の4ヶ月にこの最低数が入館したと想定しても、合計して11,068人となる。

※ 上町我家開設に向け準備をしていると「ここはどこですか?」「甲斐本家はどこですか?」と聞かれることが多かった。



# 3. 各取組の概要

## ②プロジェクト2：仮想商店街プロジェクトの実施

・小中高、大学生交えたワークショップの開催

ポスターづくりや販促ワークショップ開催

空家手配

市担当者と担い手が活用可能空家の家主と交渉し選定。



間取り調査・改修ワークショップの実施

大学生が間取りを測り図面化  
大学生が小中高生の下校途中  
改修作業を手伝ってもらったり  
アイデアを提案されカタチに！



ペンギンドリンクの復刻版第1弾！  
「懐かしい上町の昭和の味。」を、  
上町のまちなみとともにPRするポスターのための写真を募集！



子どもたちをモデルにした撮影会、甲斐本家をバッグにするなどPRポスターの構図検討

お問合せは  
0241-24-4541  
**わいわいベタベタ**  
自分だけの「トートバッグ」づくりワークショップ

前回のワークショップでは、「みなさんが描いたイラストも、こんな感じで入られますよ！」ということをデモンストレーションさせていただきました。  
今回は、実際に描いてもらったものがオリジナルトートバッグとして完成したら、すぐにお使いいただけます。

この機会に、トートバッグをゲットしてくださいね！



日時：平成28年2月7日（日）  
10時から  
場所：上町我家  
（旧ノ瀬米穀店）

内容：  
オリジナルイラストの  
アイロン転写プリント  
ワークショップ  
主催：まちなみ・蔵庭プロモーション協議会

母子の参加が多く、来れない方も次回開催を要望し、上町バッグを持つことがステイタスにも。

◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
かね喜・蔵の会	空家手配・各関係者調整・改修プラン支援
喜多方市	専門家紹介、ワークショップ支援、蔵庭・空き店舗活用

# 3. 各取組の概要

## ②プロジェクト2：仮想商店街プロジェクトの実施

・「仮想商店街プロジェクト」の実施

子どもたちによる駄菓子屋の準備、プロダクトグッズ販売仮想商店の実施



上町オリジナル  
トートバッグ

キャンバス角底トート  
W280H1320xD100mm (内底)

キャンバストート(SM)  
W340H1260xD100mm (内底)



¥500



上町オリジナル

横山下駄店  
限定下駄 + トート  
バッグ

セット

キャンバストート(SM)  
W340H1260xD100mm (内底)



¥1,000



# 3. 各取組の概要

## ②プロジェクト2：仮想商店街プロジェクトの実施

(成果と課題)

・「上町我家」としての空き店舗活用



学校帰りの子どもたちの活用風景

### ◎各取組の成果・課題

まち独自の商品開発・販売による収入の継続、

ワークショップ等の開催による参加費、シェアオフィスや使用料収入等による空家改修の展開

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
歩行者の増加	約 600 人(H21 調査) 10月ふれあい通り交差点	1,000人	1月12日 イベント時 445人 1月11日 未実施時 92人
イベントの開催	0回	1回	達成。継続的にミニイベント実施中。

※ 歩行者の増加に関しては、H21の10月と同じ時期に調査を行いたかったが、上町我家の開設が遅れてしまった。上町我家のイベント時と未実施時に大きな増加の傾向があることから、さらに盛り上がりれば集まる拠点となり必ず達成できる。

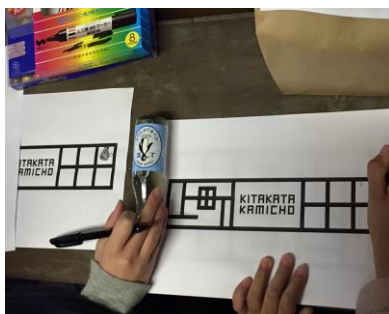
# 3. 各取組の概要

## ③プロジェクト3：空家・空き店舗の活用、店舗の改修

・店舗の活用メニューづくり(プロダクトグッズの制作)

プロダクトグッズづくりワークショップの開催

販促活動PRポスターの制作、FM取材依頼等



元自動車デザイナーの池山悦朗氏にアドバイスいただき、どんなプロダクトグッズを制作するかまちづくり勉強会にて検討。

バッグの色や大きさについて担い手からは、お稽古や回覧板を入れるのに使いたいと意見をいただいた。

70地区分の回覧板を上町バッグで廻すことは大きなPR効果があると担い手より提案。

年度末まで予算化配布へ！

### ◎構成主体・役割(中間支援の内容)

構成主体	役割(中間支援の内容)
かね喜	計画作成、デザイン支援、事業者マッチング、専門家紹介
会津商工信用組合	商品開発、創業・資金調達支援、投資シミュレーション指導
喜多方市	補助制度、空き家対策、蔵改修補助、景観協定に向けた調整
喜多方蔵の会	蔵改修におけるアドバイス、伝統的建造物セミナー

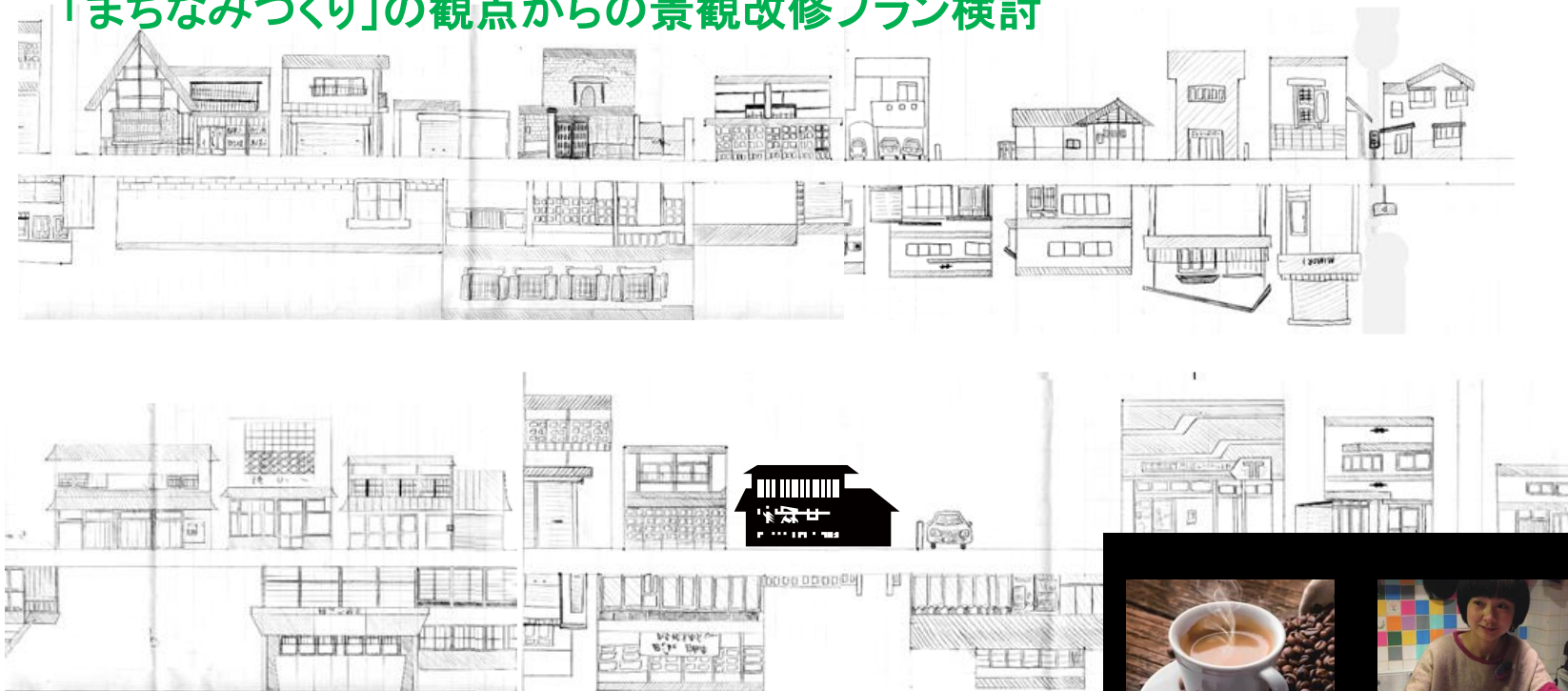


# 3. 各取組の概要

## ③プロジェクト3：空家・空き店舗の活用、店舗の改修

・空家、店舗の改修プランの作成

「まちなみづくり」の観点からの景観改修プラン検討



2000年から喜多方市の景観まちづくりに携わり、県の景観アドバイザーでもある北山利彦氏から景観改修や通りの価値を上げるための手法を学び、担い手の町内と継続的な景観勉強会を開催。平成28年1月16日には、正式な担い手団体として上町まちづくり協議会が発足。

今後は、上町まちづくり協議会が実行部隊として諸課題を解決していけるよう提案支援していく。



Cafe



Sweets



Fashion



Education



WorkShop



Music

# 3. 各取組の概要

## ③プロジェクト3：空家・空き店舗の活用、店舗の改修

### (成果と課題)

・上町オリジナルプロダクトグッズの制作と販売

「ペンギンドリンク」 「ペンギンパン」

「上町トートバッグ」

「販促ポスター」



150円@116本  
17,400円



10,000円分約70個完売！



売上29,700円＋年度末までに35,000円70個回覧板用



【担い手】各団体から提案、ペンギンドリンクは青年会と子供会育成会、婦人会からはペンギンドリンクにちなんでパンもいいね。トートバッグは子供会と町内会から提案。

【協議会】試作し至らない点など改善。販促のポスターやポップなどのデザインも提供。

### ◎各取組の成果・課題

- ・市内各施設で上町プロダクトグッズの販売の申し出がある。
- ・今後は市内住民等だけでなく、観光客層を特に視野にいれ、甲斐本家の取り組みと連携したグッズ制作・店舗活用が重要

成果目標	現状(年度当初)	目標	達成状況
プロダクトグッズ収入	—	売上年間6万円	達成予定 92,100円



# 3. 各取組の概要

## ④ まちなか全体との連携を考慮した上町ブックレットの制作

喜多方あたらし図鑑



この度の支援体制整備事業を振り返り活動内容とこれからの「駅と上町を結びまちなかに賑わい創出」を目的として身近な魅力から住みたくなる魅力をブックレットにまとめました。

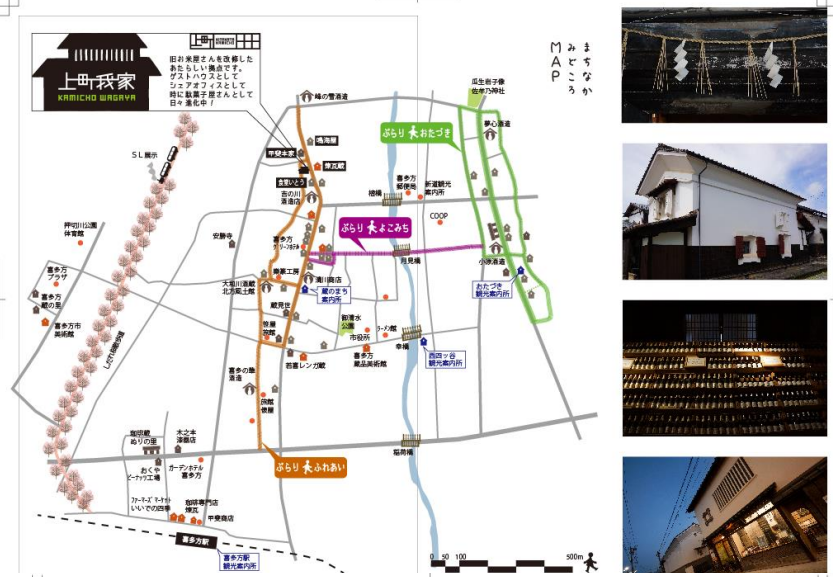
これらの素材を活用し、次年度からはWEBにてブックレットだけでは伝えきれない最新情報を発信！



# 3. 各取組の概要

## ④ まちなか全体との連携を考慮した上町ブックレットの制作

まちなか全体の紹介と  
上町のまちなかでの位置



上町我家の紹介、今後の  
活用やこれまでの経緯など



ワイワイ、ガヤガヤ、  
カミチョウワガヤガヤ、



ペンギンドリンクなど、  
プロダクトグッズの紹介



昭和五十年代まで、上町をつくられていた、なつかしいサイザル。あのころ飲んで、いまも飲んで、いまは地元産のサイザルが中心になりました。味も思いもよらずに引き継いでいます。



Vol.1 上町 ペンギンドリンク

歴史的建物のみでなく、  
上町のコアな情報の紹介

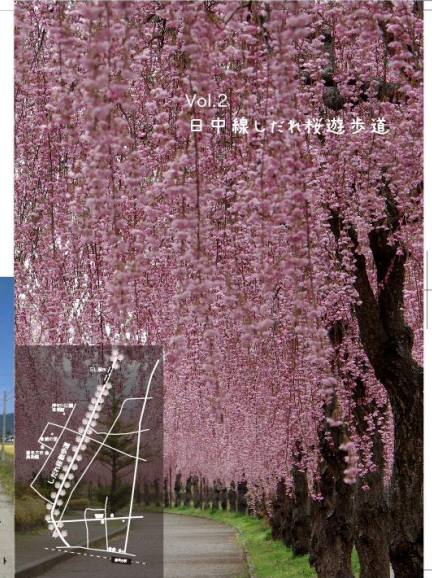




# 3. 各取組の概要

## ④ まちなか全体との連携を考慮した上町ブックレットの制作

喜多方のその他の新しい取組み・みどころの紹介  
 他の団体との連携、まち全体を捉えたブックレットの提供。



蔵庭の紹介と駆る上町まで  
 のおすすめルート



# 3. 各取組の概要

## ④広報に関する取組

### (担い手の活動に関する広報)

- ・SNSによるミニ講習会等の開催案内や、街角生中継等のメディアを活用した積極的なPR



まだ活動初期のため認知度は低い。



ブックレットの配布や、他取り組みと積極的な連携によって、まち全体の中でのひとつの活動として位置づけられるようにすることが課題。

### (中間支援体制に関する広報)

新聞、エフエムきたかた、NPO喜多方市民活動センター  
会津中間支援ネットfacebookなどへの開催、報告記事の投稿。



**【結果】**「いま話題の上町我家の取組み」ということで、取材、事業講演、地域事例交換会への参加要請がきている。それにより課題等も行政に対して周知され対応を促すことができるようになった。



# 4. 中間支援における課題と対応

## ②広報に関する取組

### ◎中間支援の特徴、苦労している点、工夫している点など

#### 苦労している点

地方のまちとして、担い手には高齢者が多い状況ということもあり、まずは担い手が地域ビジネスの主体となっていけるような工夫が必要。



#### 工夫している点

独自で事業を推進できる位置まで指導しながら、誘導支援を行うという体制で取り組んでいる。活動が周知されてくると、若い担い手の参加が増えてきている。

### ◎体制として連携する上での苦労、留意している点など

#### 苦労している点

一地域のみでなく、まち全体を視野にいれながらの計画づくりを目指しているが、将来像の共有がむずかしい。



#### 工夫している点

それぞれの得意分野を活かして支援活動を行うとともに、公共的なまちの景観やまち全体のつながりを含めた活動の計画について市役所などが助言をしながら進めた。

### ◎体制として行っている広報の状況

#### 苦労している点

市以外の国県などに担い手活動が認識され、連続した景観形成への街路整備計画予算化。



#### 工夫している点

新聞、ラジオ、NPO市民活動センターでの事例報告を行い地元の方々に広く周知し機運を高め活動賛同者を増やしている。

# 4. 中間支援における課題と対応

## ②広報に関する取組

### ◎体制の成長(スキル、ノウハウの蓄積など)につながった点

- ・デザインの専門家による、まち独自の商品開発等におけるブランディング手法や、住民を巻き込んだ開発ワークショップの方法等。
- ・各事例を勉強し、販売等による収入や、空家空き店舗を活用していくうえでの運営・管理方法等等。

### ◎体制として連携することにより達成できたこと、メリット、効果

本市の担い手団体においては、「事業そのものを推進する力がまだまだ弱い」という担い手が多い。そのような担い手を支援するためには、資金支援のみでなく、担い手自らの活動を指導・誘導しながらの支援も重要である。そのため当初計画や目標よりも若干の遅れや力不足も否めないが、それぞれの得意分野を活かして、都度細かい支援が行え、確実に担い手の実行力や継続の展望は大きくなっている。

### ◎金融機関が加わったことによるメリット など

**本事業の特徴**：特に空き店舗の活用と今後の空き店舗への新規事業者の参入を視野に入れていた

**メリット**：その際の収支シミュレーションや、商品開発等の展開における価格設定や展望などについて指導を受けられたこと。



# 5. 事業終了後の予定

## ◎活動費の確保

### 【担い手活動と利活用】

#### 1. 上町我家の利用料

- ・ イベントスペースとして活用
- ・ シェアオフィスの事務局機能
- ・ 蔵住まいの滞在体験施設としての活用
- ・ 地元無尽でのケータリングと場の提供

#### 2. 担い手開発のプロダクトグッズの展開

- ・ ペンギンドリンクの復刻
- ・ 地元住民へトートバッグの販売
- ・ 奥州岩代国北方駄菓子とプロダクトグッズの物産展販売
- ・ 桐下駄とプロダクトグッズのイベント販売

### 【当協議会の間接支援と指導】

- ・ 金融機関と協力した起業団体独立への支援
- ・ 新規プロダクト開発支援と指導

# 5. 事業終了後の予定

◎ 体制の活動の継続に向けた事業展開

◎ 体制の継続・拡充

- ・ 甲斐本家蔵座敷のPR事業
- ・ 常駐観光案内所機能
- ・ 地元まちづくりに関する中間支援  
街路整備、街路灯整備、景観協定、空き店舗活用提案 等
- ・ 新しい担い手支援の相談窓口機能
- ・ イベント協力と支援

# 5. 事業終了後の予定

## ◎新たな担い手に対する支援の事業計画

### ・平成28年度

- 上町まちづくり協議会の部会発足、役割分担での活動
- 喜多方ストリートカルチャー協議会  
(スケートボード、BMX、インライン、ダンス、音楽提案組織)  
→ 福島県地域創生総合支援事業へ申請
- シェアオフィスにおける起業者の支援

### ・平成29年度以降

- 上町まちづくり協議会での街路整備ワークショップ開催
- 喜多方ストリートカルチャー協議会  
→ 二年目、福島県地域創生総合支援事業へ申請
- シェアオフィスにおける起業団体自立運営までの支援
- 新しい担い手の支援